

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.7 2011年4月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

ディアイティ、議事進行をサポートする機能など強化した新しいバージョンのテレビ会議システムを発表

株式会社ディアイティ(東京都江東区)は、テレビ会議システム「DayConnect PRO シリーズ」に対して、「DayConnect PRO バージョン 2.0」の販売を4月20日より開始すると発表。(3月10日)

DayConnect PRO バージョン 2.0 では、議事進行をサポートする機能を中心に機能強化を行っている。会議の進行役である主催者側で、参加者の発言の要求への許可や、全端末のカメラ映像の切り替えなどのコントロールがおこなえるとともに、参加者の投票を集計できる投票機能、「MC モード(Master of Conference mode)」が行えるようになった。

MC モードは、多数の参加者がいる会議を円滑に進行させるためのモードで、主催者と選択された発表者、そして資料共有データのみを他の参加者に配信するモード。従来よりも狭い通信帯域での利用が可能になったとともに、専用の MCU(多地点接続装置)を利用するテレビ会議システムに比べ大幅なコストダウンを実現している点が特長という。このモードでは、従来の基本構成に、「配信サーバ」を追加するだけで利用できる。

その他、より鮮明な音声実現のために G.722 コーデックを採用。また、設定の簡素化、資料共有のために専用アプリをインストールすることなく利用できるよう Web アプリケーション化を図った。

ディアイティによると、DayConnect PRO バージョン 2.0 は、支店長会議、部門長会議、社内研修、講義、授業、講演など多拠点を接続して実施する会議のスムーズな進行に最適だという。

販売価格は、基本構成価格(管理サーバ+Touch モデル 2 台構成)で、1,744,000 円。(消費税別、以下同じ)(Server Mini:348,000 円、Touch:698,000 円)オプションとしては、配信サーバ「DayConnect PRO 配信 Server が、748,000 円。

なお、有償保守契約ユーザは、バージョン 2.0 へ無償アップグレードができる。保守契約がない場合は、有償保守契約をすることでアップグレード可能だ。

ニューロネット、同社 Web 会議が HTML5 を搭載

ニューロネット株式会社(東京都渋谷区)は、同社の Web 会議「SaaSBoard Ver3.0」が HTML5 を搭載したと発表。同製品は3月1日より発売している。(3月8日)

ニューロネットによると、パソコンだけでなく、スマートフォンやテレビなどが HTML5 を搭載することで、相互につながる可能性がでてくるという。つまり、SaaSBoard が Web 会議として HTML5 を搭載することで、Web 会議をパソコン間同士だけでなく、スマートフォンやテレビ同士、パソコンとスマートフォン間、スマートフォンとテレビ間で行える可能性が出て来たという。

HTML5 では、動画や音声を始めとしたいろいろなオブジェクトを取り込み、表示することができる。Web ボードには、文字や手描きの絵、図形を描き込めるほか、ハイパーリンクや写真、映像・音楽データ、Youtube、Google マップなどの HTML 埋め込みコードを貼り付けることができる。そのため、Web 上のあらゆる情報を駆使した議論が可能になるという特長がある。さらに、作成された議事録は、iPhone や iPad、Android など HTML5 対応の環境で閲覧ができる。

今後同社では、利用者環境を選ばない Web 会議の仕組みづくりを進めていく考えだ。

SaaSBoard Ver3.0 は、ID 型と呼ばれる「Collabo コース」と

「会議室型 Room コース」が提供されている。フル機能を使えるレギュラーコースと、コストパフォーマンスの良いライトコースを選択できる。「Collaboコースレギュラー」が、1 IDあたり月額4,980円。「ライトコース」が1 IDあたり月額2,980円。

一方、「Room コース」は接続席数により同時 6 接続の「Room6」から同時 100 接続の「Room100」まであり、「レギュラーRoom コース」で月額 1 接続あたり 3,000 円から 4,000 円(概算)。ライトコースは、月額 1 接続あたり 1,500 円から 1,700 円。全コース固定月額利用料のみで、初期費用など別途費用はない。詳細は、同社サイトにて確認要。

ビジネス動向-海外

エリクソンとポリコム、マス市場向けビジュアルコミュニケーションで協力

エリクソン社とポリコム社は、ホスト型テレプレゼンスサービスに向けた統合エンドツーエンドソリューションの分野で協業していくと発表した。(2月15日)

この統合エンドツーエンドソリューションは、エリクソン社の IMS(IP マルチメディアサブシステム)ネットワークとポリコム社のインフラストラクチャーおよびテレプレゼンスエンドポイント間のインテグレーションを技術基盤としたもので、通信事業者は、この技術基盤を活用することで、マス市場への訴求、相互運用性、低価格を実現するIMS ベースのホスト型テレプレゼンスサービスを構築。企業や消費者向けに手頃な価格で、HD 品質のビジュアルコミュニケーションサービスとして提供できるようになる。

ポリコム社としては、「UC Everywhere(ユーシーエブリウェア)」とクラウド戦略を推進していく中で、さまざまなデバイスやネットワーク間で簡単に接続するためのシステム間の相互運用性を目的とした国際標準を重点項目としており、そういった観点から、通信事業者向けのテクノロジーとサービスに実績のあるエリクソン社と協力することになった。一方で、エリクソン社としても、今後ビジュアルコミュニケーションを重視していく考えを示している。

なお、発表は、バルセロナで開催された Mobile World

Congress にて行われ、テクノロジープレビューも実施された。

ポリコム、ビデオコンテンツの Accordent Technologies 社の買収を発表

米ポリコム社は、米 Accordent Technologies 社の買収を発表した。買収金額は、約 5,000 万ドル。(3月23日)

Accordent Technologies 社は、ビデオ会議にストリーミング機能を付加するなど含めビデオコンテンツ管理と配信関連のソリューションを提供する企業。社員数 50 人で、2010 年の売上は、900 万ドル。顧客は、民間企業から公営企業(public sector)までふくめた 1200 社以上という。マイクロソフトの戦略的パートナーでもある。

オフィスは、南カリフォルニアにあり、ポリコムの UC R&D 部門に所属することになる。同社の売上は、今後ポリコムのネットワークインフラ製品関連の売上に含まれることになる。

今回の買収に踏み切ったのは、今後のビデオコンテンツ市場の成長性が見込まれているからだ。それに加え、マイクロソフト社と Accordent Technologies 社の戦略的なパートナーシップ関係もある。Accordent Technologies 社の技術が今後ポリコムの「UC Intelligent Core(UC インテリジェントコア)」に統合されることで、ポリコムがすでに実施しているマイクロソフト「Lync」と「Sharepoint」との統合を強化するとともに、市場での差別化に寄与させる考えだ。

Mirial 社、中国の QTCT 社と提携、中国市場へ初めて参入

イタリアの Mirial 社は、中国の QTCT 社と提携したと発表。(3月31日)

Mirial 社としては、最初の中国パートナーとなる。QTCT 社は、今後 Mirial 社のビデオ会議ソリューションを中国市場に展開していく。マーケティングから販売、サポートまで対応する。QTCT は、Qian Tang Communications Technology Co., Ltd の略で、中国においてビデオ/音声会議のマネージドソリューションと通信ソリューションを提供するプロバイダー。ビデオ会議については、Mirial 社以外に、ライフサイズ、ポリコム、

タンバークなどと提携しているという。ビデオ会議からインターネットサービス、さらには電話サービスまで幅広いコミュニケーションツールをリーズナブルな価格で提供することを目的に事業をおこなっている。

Intercall 社、VNOC プロバイダー米 Iformata 社と提携

Intercall 社は、VNOC プロバイダー米 Iformata 社と提携したと発表。(3月9日)

この提携により、Intercall 社と Iformata 社は、グローバル VNOC (Video Network Operations Center) サービスを提供する。これにより、世界 55 カ国におよぶ Intercall 社の VNOC 顧客をサポートできるようになる。

Iformata 社は、テレプレゼンスメーカーやサービスプロバイダーなどから、テレプレゼンスユーザ向けユーザーサポート、ネットワーク管理までを含めたマネージドサービスを一括して受託するビデオ ネットワーク オペレーション センター(VNOC) プロバイダー。ビデオ会議では 16 年の経験があり、VNOC のための自動化ツールを開発している。現在、Iformata 社では、ビデオ会議市場リーディング企業うちの 3 社に対して VNOC サービスを提供している。加えて、同社では、タンバーク、Teliris、ポリコム、シスコシステムズ、ライフサイズ各社製品間の B2B サービスも提供しているという。

Intercall 社は、米 West Corporation 社の関連会社。設立は、1991 年。音声会議、Web 会議、ビデオ会議と関連のサービスを提供する。世界に 4 ヶ所のコールセンターと 26 のセールスオフィスを持つ。日本には、インターコール株式会社(東京都港区)と大阪に拠点を持つ。

市場動向-国内

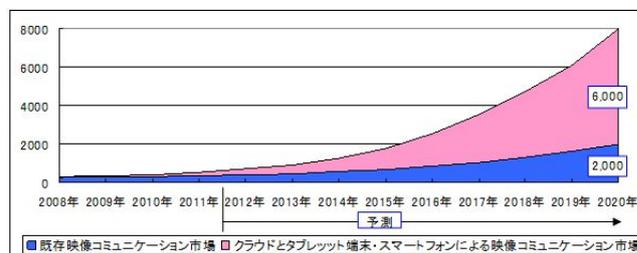
シード・プランニング、映像・音声会議システム市場の動向調査発表、国内映像・音声会議システム市場は、2008 年の 286 億円から 2014 年には 570 億円市場に

株式会社シード・プランニング(東京都台東区)は、映像・音声会議システム市場の動向調査を実施したと発表。(3月25日)

同社では、2003 年から毎年、ビデオ会議(専用端末タイプ)/Web 会議(SI タイプ/ASP タイプ)、音声会議(端末/サービス)の調査を行ってきた。8 回目の調査となる今回は、日本国内で業務用ビデオ会議/Web 会議/音声会議システム関連企業 83 社(メーカーと販売会社)を調査し、世界市場と日本市場の現状と将来展望についてまとめた。

2008 年の国内の映像・音声会議システム市場は、286 億円。そのうちわけは、ビデオ会議システム(専用端末タイプ)と音声会議サービスが全体の 68%、また Web 会議システムは、21%であった。

映像・音声コミュニケーション市場規模イメージ(国内 単位:億円)



(シード・プランニング作成)

市場規模推移 (シード・プランニング資料)

今後の国内の映像・音声会議システム市場の規模は、2010 年の 329 億円から、2014 年には 570 億円、そして 2020 年には、2,000 億円になると同社では予想する。

そのなかで、Web 会議システムの伸びが 2010 年以降大きくなり、2014 年には、映像・音声会議システム市場全体の 32% を占め、2020 年には 50% まで拡大すると予想する。この予想から 2014 年には、ビデオ会議システム(専用端末タイプ)とほぼ同じ規模になるということになると同社では説明する。

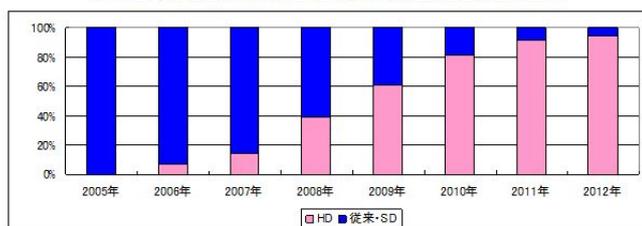
加えて、クラウドコンピューティング、タブレット端末、スマ

ートフォンなどによるビデオチャットの普及により 2015 年以降から新たな市場が生まれると予想する。これにより、映像コミュニケーションが、これまでの「会議用途」から、「業務支援」や「業務」そのものへ広がっていくだろうとみている。

この結果、2020 年には既存の映像・音声会議システム市場 2,000 億円に加えて、クラウドの普及による映像コミュニケーション市場とタブレット端末やスマートフォンによるビデオチャット市場の 6,000 億円が加わり、8,000 億円の市場になると予測する。

一方、ビデオ会議(専用端末タイプ)世界市場のメーカーシェアについては、ポリコム、シスコシステムズ(旧タンバーク)が上位メーカーである。日本市場では、ポリコムが台数と売上金額ベースともにシェア1位となっている。

ビデオ会議(専用端末タイプ)の従来型・SDとHDの台数割合の推移(国内)

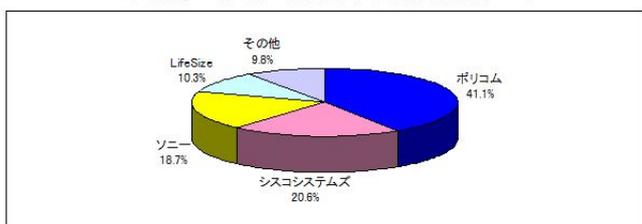


(シード・プランニング作成)

SDとHDの台数割合(シード・プランニング資料)

国内のビデオ会議(専用端末タイプ)のHD化については、2007年から加速しているという。上位メーカーである、ポリコム、シスコシステムズ(タンバーク)、ソニービジュアルソリューションズ、ライフサイズ(日立ハイテクノロジー)が、従来のSD(標準画質)から価格の高いHDタイプに製品をシフトしているためという。2009年には、ビデオ会議販売台数の半数がHDタイプで、2012年にはこれが100%になるとみる。

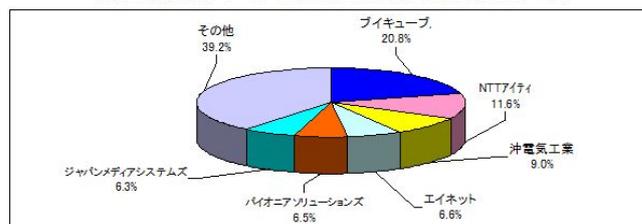
ビデオ会議 メーカー別シェア(国内、2010年見込み、金額ベース)



(シード・プランニング作成)

ビデオ会議メーカーシェア(シード・プランニング資料)

Web会議(SI+ASP)メーカー別シェア(国内、2010年見込み、金額ベース)



(シード・プランニング作成)

Web会議メーカーシェア(シード・プランニング資料)

また、国内のWeb会議(SIタイプ/ASPタイプ)のシェアは、売上金額ベースで、ポリコム、NTTアイティ、沖電気工業が上位メーカー。国内市場のトレンドとしては、ASPタイプが伸びているという。2007年は、売上金額ベースで、約34%だったが、これが2009年には、41%に増加した。他方導入社数からみると、2008年は、ASPでのWeb会議導入が全体の61%、一方SIでの導入が39%であった。

この調査結果の詳細は、調査研究レポート「2011ビデオ会議/Web会議の最新動向～映像コミュニケーションの新しい動き～」(価格126,000円、2011年3月22日発行)として販売している。

シード・プランニング、東北関東大震災後の業界への影響について緊急アンケートを実施

株式会社シード・プランニング(東京都台東区)は、3月11日に発生した東北関東大震災後の影響について、ビデオ会議・Web会議・音声会議システムのメーカーへ緊急アンケートを実施し、結果をまとめたと発表。(3月31日)

緊急アンケートでは、震災後のメーカーへの問い合わせの状況、無料・割引サービス実施状況、今後の市場への影響、危機管理ツール・テレワークツールとしての認識の4点について調査した。対象は、関連メーカーおよびベンダー75社。うち26社が回答。(回答率33%)実施期間は、3月23日から28日。電子メールにて実施。

震災後の問い合わせについては、50%のメーカーが増えたという回答。変わらないが46%。減ったが4%だった。

震災後約2週間以内に、無料サービスもしくは割引サービスを実施しているメーカー・ベンダーは39%。検討している企

業をいれると、73%になる。

今回の震災を受けて、市場が今後(2～3年後)増加するとみている割合は、100%。回答した全てのメーカー・ベンダーは、市場規模が増加すると見ている。

今後、ビデオ会議・Web 会議・音声会議は、緊急時の危機管理やテレワークツールとして注目されると見ているかについては、「すごく注目される」が 77%、「少し注目される」が 19%で、合計 96%。

メーカー・ベンダーへの問い合わせ状況 (n=26)



(シード・プランニング作成)

無料サービス、割引サービス実施状況 (n=26)



(シード・プランニング作成)

今後の緊急時の危機管理ツール、テレワークツールとしての可能性 (n=26)



(シード・プランニング作成)

(グラフ上中下) 緊急アンケート (シード・プランニング資料)

セミナー・展示会情報

<国内>

【"見える"カレッジ】「クラウドで実現！"リモート"業務管理と"見える"コミュニケーション」

～在宅勤務・テレワーク・事業継続計画(BCP)・・・～

日時:4月22日(金)14:30～16:40(受付:14:15)

会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)

主催:株式会社ブイキューブ

詳細・申込:http://www.vcube.co.jp/news/0401_1550.html

コンプライアンス重視の在宅勤務を実現する遠隔 Web 会議サービス SaasBoard3.1

日時:4月22日(金)13:30～15:00

会場:ネット受講(オンライン)

主催:ニューロネット株式会社

詳細・申込:<http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html>

第5回 遠隔会議システム EXPO

日時:5月11日(水)～13日(金)

会場:東京ビッグサイト・西ホール

(オフィスサービス EXPO 内)

主催:リード エグジビション ジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.recon-expo.jp/>

コンプライアンス重視の在宅勤務を実現する遠隔 Web 会議サービス SaasBoard3.1 今すぐ実施できる在宅勤務(テレワーク)

日時:5月20日(金)13:30～17:00

会場:渋谷区商工会館2F セミナー室

主催:ニューロネット株式会社、ライド株式会社

詳細・申込:<http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html>

成功するビジュアルコミュニケーション 戦略的活用セミナー～先進的利用顧客から学ぶ テレビ会議・Web 会議実践の秘訣～

日時:6月3日(金) 13:30～17:20 (開場 13:00～)

東京、大阪 2元中継 同時開催

会場:東京:TKP 大手町カンファレンスセンター

大阪:TKP 大阪淀屋橋カンファレンスセンター

主催:VTV ジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/seminar/1106vtv/index.html>

*基調講演は、日本大学大学院商学研究科 教授 工学博士 児玉 充 氏。

セミナーアーカイブ

去る3月17日-3月18日ラスベガスで開催された TeleSpan's Sixth Annual Future of Conferencing Workshop のビデオアーカイブが下記にてご覧いただけます。ただし有料のようですので、詳細は、下記でご確認ください。

ビデオアーカイブ:http://www.telespan.com/vod_ad/index.html

Workshop ページ:<http://www.telespan.com/workshop/>

編集後記

今回もご覧いただきありがとうございます。TeleSpan's Sixth Annual Future of Conferencing Workshop のセミナーレポート(英語)が、テレスパンニュースレター(英語、有料)に掲載されましたので、抄訳をこの CNAR 定期レポートに掲載予定です。次回もよろしくお願ひ致します。

CNA レポート・ジャパン 代表 橋本 啓介